

「平和の礎」案内図



刻銘の対象

「平和の礎」には、沖縄戦で亡くなられた一人一人の氏名を刻銘します。

沖縄戦の期間は、米軍が慶良間諸島に上陸した1945年3月26日から降伏文書に調印した同年9月7日までとし、戦没場所は沖縄県の区域内とします。ただし、次に掲げる戦没者についても刻銘の対象としています。

- (1) 沖縄県出身の戦没者
 - ア 満州事変に始まる15年戦争の期間中に、県内外において戦争が原因で死亡した
 - イ 1945年9月7日後、県内外において戦争が原因でおおむね1年以内に死亡した者(ただし、原爆被爆者については、その限りではない。)
- (2) 他道府県及び外国出身の戦没者
 - ア 沖縄守備軍第32軍が創設された1944年3月22日から1945年3月25日までの間に、南西諸島周辺において、沖縄戦に関連する作戦や戦闘が原因で死亡した者
 - イ 1945年3月26日から同年9月7日までの間に、沖縄県の区域を除く南西諸島周辺において、沖縄戦に関連する作戦や戦闘が原因で死亡した者
 - ウ 1945年9月7日後、沖縄県の区域内において戦争が原因でおおむね1年以内に死亡した者

刻銘の方法

- 戦没者の氏名は、母国語で、国別、県別に刻銘されています。
 - なお、沖縄県出身者については、市町村別、字別に刻銘されています。
- 表記方法は、横書きとしています。
- 刻銘の順序は、次のとおりです。
 - ① 県外出身者は、県別五十音順
 - ② 県内は、字別に番地の若い順、五十音順及び高年齢順(家族ごと)
 - ③ 米国は、軍隊別にアルファベット順
 - ④ 英国はアルファベット順
 - ⑤ 大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国は、ハングル文字順
 - ⑥ 台湾は、姓の画数の少ない順
- 刻銘の修正・削除等がありましたら県までお問合せください。

検索システム

検索システムでは、「平和の礎」に刻銘されている戦没者の刻銘位置が検索でき、タッチパネルと音声により、子どもからお年寄りまで簡単にご利用できます。

検索システムでは、「平和の礎」内の2か所の検索コーナーと平和祈念資料館内に設置されています。

なお、刻銘位置の案内は英語、韓国語、中国語でも対応できるようになっています。

刻銘者数及び刻銘位置については検索コーナー及び公園案内所に表示しています。

刻銘位置の案内

外国、県外、県内のゾーン別に、平和の広場側から刻銘碑に向かって左側を起点とし、県外は北海道から南へ、沖縄県は国頭村から南へ順に刻銘されています。なお、追加刻銘については、刻銘年毎に北から南の順に刻銘されています。